

～10月は不適正搬入防止月間です～

不適正搬入をなくし、安全・安心な清掃工場を目指す

東京二十三区清掃一部事務組合
(以下「清掃一組」という。)は、
23区から出るごみを安全かつ安定
的に処理しています。

しかし、清掃工場に、受入基準
を超える大きさのごみや不燃物等
が搬入される「不適正搬入」が後
を絶ちません。

これらは、設備の故障や火災、
焼却炉の停止などの原因となり、
施設の運営に大きな影響を及ぼし
ます。

そのため、清掃一組では、搬入
物検査を実施し、不適物の搬入を
水際で阻止するとともに、搬入者
への指導や23区への情報提供を通
じて、不適正搬入の未然防止に取
り組んでいます。

清掃一組による対策の徹底はも
ちろんのこと、不適正搬入を根本
から防止するためには、何よりも
区民や事業者の皆様による日頃か
らの「適正なごみの分別」が不可
欠です。

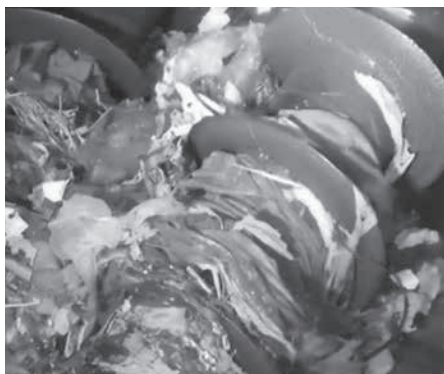
仮に焼却炉が停止するようなこ
とがあれば、23区全体のごみ処理
体制に大きな影響を及ぼすことと
なります。

10月の「不適正搬入防止月間」
を一つの契機として、皆様には改
めてごみの分別の重要性について
ご理解を深めていただき、日頃の
排出方法を見直していただければ
幸いです。安全かつ安定したごみ
処理体制の確立に向けて、皆様の
ご理解とご協力を心よりお願い申
し上げます。

「不適物」の搬入による設備への影響事例



パチンコ玉が焼却炉の火格子に
詰まり、動作不良が発生したた
め、焼却炉を停止しました。



長いごみがスクリュー軸に巻き
付き、動作不良が発生したため、
焼却炉を停止しました。



長い布がクレーンに巻き付き、
一時的に操業を中断して異物を除
去しました。

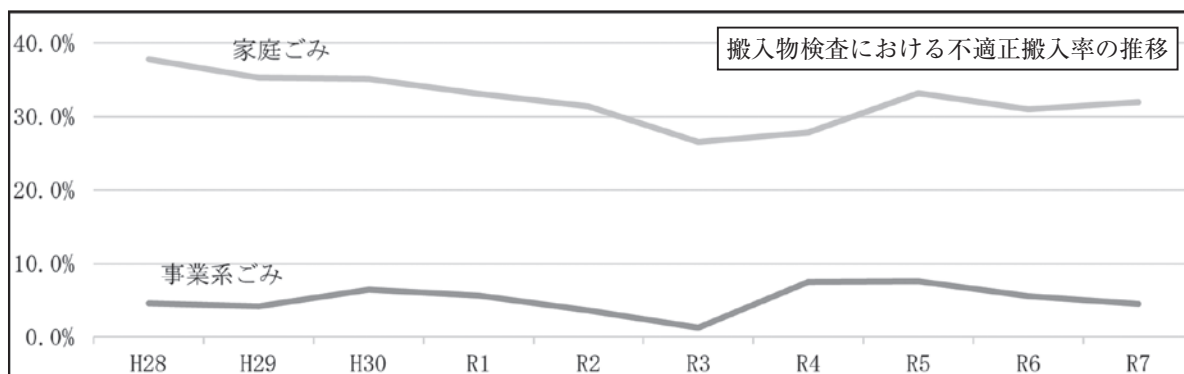


清掃工場のお兄さん



くみちゃん

たった一つの不適物が、
清掃工場を止めてしまう
こともあるんだ。



家庭ごみにおける搬入物検査で
は、検査した車両のうち、約3台
に1台で不適正搬入が確認されて
います。

搬入物検査の役割

搬入物検査は、不適物を発見するだけでなく、清掃工場にどのような不適物が搬入されているか、その実態を把握する役割も担っています。

検査で確認された不適物の種類や搬入状況を記録・分析することで、不適正搬入の傾向や課題を明らかにし、今後の対策に活用しています。

また、検査結果は23区へ情報提供し、排出者への指導や区民・事業者への周知啓発に役立てています。さらに、繰り返し不適正搬入が確認された搬入者に対しては、原因を確認したうえで改善に向けた指導を行い、再発防止につなげています。

このように、搬入物検査は、不適物を取り除くだけでなく、不適正搬入そのものを減らすための重要な役割を担っています。

搬入物検査では、ごみをプラットホームに広げた上でごみ袋を破袋し、限られた時間の中で、内容を丁寧に確認しています。

また、注射針などの鋭利なものや、リチウムイオン電池などの爆発性を有する危険物が混入している場合もあることから、作業には細心の注意が必要です。

清掃一組では、このような確実な実態把握と再発防止の取組を重ね、清掃工場の安全かつ安定した運営を支えています。

搬入物検査の実施手順をご紹介します



搬入車両を検査場所へ誘導し、検査サンプルを確保します。



鳶口（とびぐち）を使用し、不適物が混入していないかを確認します。



確認された不適物を詳細に記録し、指導や周知啓発の資料として活用します。



検査終了後、重機などを使用し、ごみの片付けを行い、次の検査に備えます。

家庭からでる
水銀混入ごみ編は
こっちだガオー！



ごみ怪獣カーネン



ごみ怪獣フーン

大きなごみ・
不燃ごみ編は
こっちだドン！



ごみ怪獣キング・ソーダイ



清掃一組では、搬入物検査の実施や啓発資材の配布に加え、不適正搬入防止を分かりやすく伝えるための動画を公開しています。

動画では、清掃工場で実際に確認された不適物の事例や、清掃工場への影響、ごみを適正に分別・排出することの大切さを紹介していますので、ぜひご視聴ください。

（東京二十三区清掃一部事務組合 施設管理部管理課）

そのほかの啓発活動について